ふしぎがいっぱい(3年)「虫のからだ」利用案

筑波大学附属小学校 佐々木 昭弘

【単元のねらい】

カマキリ、バッタ、カブトムシ、アメンボ等の体のつくりを調べ、すみかや餌、行動の違いによって昆虫の体にはそれぞれ特徴があり、違いがあることをとらえさせる。

【番組利用にあたって】

ここでの学習は、昆虫の体のつくりには共通性があることに加え、すみかや餌、行動の違いによって特徴があることを、様々な昆虫のからだのつくりを調べる過程で気づかせていくことが大切である。 そこで、本番組は、学習の終末部での視聴が考えられる。

○:学習活動 ◇:支援 ◆:番組 ■:クリップ ▲:ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第一次 こん虫のすみかを調べよう	1	昆虫のすみかは、いったいどこにあるだろうか?	
		○昆虫のすみかはどこか、話し合いながら予想する。・チョウは、キャベツ畑にいたね。・木の上にいる昆虫もいるよ。・水の上や中にもいる。・餌があるところがすみかかな?	◇その昆虫がどうしてそこをすみかとしているのか問いかけ、餌と関係付けて考えることができるよう助言する。
		観察1 ○昆虫のすみかがどこにあるか調べる。 ・やっぱり、餌があるところがすみかだね。	◇できれば、カマキリ、バッタ、カブトムシ、アメンボをつかまえ、次時に観察できるようにする。
		昆虫のすみかは、草原、水、木	など、いろいろなところにある。
第二次 こん虫のからだを調べよう	2	こん虫の体のつくりには、どん ○カマキリの体を観察し、大き話したがある理由についまえた。 ・この前あしで、餌をつかまえた。 ・食べるのを見たことあるよきならがある理由について話し	な違いがあるか? ◇話し合いは全体で行うが、ワークシートに記録する昆虫を1つか2つに絞らせ、時間内に活動が終了できるようにする。 ◇餌と体の特徴、動きの特徴と体の特徴、すみかの場所と体の特徴とを関係づけて予想することができるよう助言して
		う。 ・ジャンプして逃げるためじゃな いかな? 観察2 ○カプトムシの体を観察し、オス	いく。 ▲虫の体のつくりをしらべよう ▲記ろくカード ◇ビデオクリップは、子どもの実態や話
		にある大きな角がある理由について話し合う。 ・これで敵をやっつけるんじゃないかな? ○アメンボの体を観察し、水に浮いていられる理由について話し合う。	し合いの状況に応じて活用する。 ■カマキリのからだのつくり ■虫の口の形 ■バッタのからだのつくり ■カブトムシの角の使い方 ■アメンボの足のひみつ
		◆『虫のからだ』を視聴する。	◇終末部で番組を視聴させることで、これまでの学習をまとめる。
		こん虫の体のつくりは、餌や動	き、すみかによって違いがある。